

平成29年度  
四倉中学校

# 学校だより

12月15日(金) 第33号

文責 校長 中根 猛

## 租税教室を2学年で実施しました

12月12日(火)の6校時に2学年で租税教室を実施しました。四倉中学校は、昨年度から2年間、租税教育推進協力校に委嘱されています。そのために「税に親しむキャッチフレーズ」などのコンクールに積極的に参加するなどの取り組みをしてきました。その一環として租税教室を開催しました。福島県いわき地方振興局県税部納税課から2名の講師の方がお越しになりご講話をいただきました。まず、クイズが出されました。ソーダ税、ポテチ税、ソーセージ税のうち無いものはどの税でしょう。答えは、ソーセージ税。健康に悪いものに税をかける外国の例でした。次に「私たちの暮らしと税」のテキストを使って税の種類は50種あまりあること、直接税と間接税の違いなどを学びました。また、小学校から中学校までの義務教育で一人当たり830万円余りかかること。それらは税金によって支えられていることを知りました。税金の必要性について更に学ぶために税金のない世界を描いたアニメ「アナザーワールド」を視聴しました。税金がない代わりに警察も消防も個人負担。道路は穴だらけ。教育費は高額で学校に通えずに働く子ども達。どういう社会で生きたいか。そのためにどのくらい負担するのが良いのか。考えさせられるアニメでした。そして、税金の使い道を決定するのは国会でその国会議員を選ぶ選挙権は18歳から。もうすぐです。税金について学ぶことの大切さを強調されました。ここで、租税教室では恒例になった1億円札束のレプリカが登場し希望した生徒の手渡しリレーによって10kgの重さを体感しました。最後に鈴木つばささんが「税のあるおかげで安全で安心な暮らしができています」と講話の内容を簡潔にまとめ御礼の言葉を述べました。

## 小中連携授業研究会 社会と理科で公開

12月13日(水)の6校時に小中連携授業研究会を開催しました。長瀬先生が指導する1年3組の理科の授業と志賀先生が指導する3年3組の社会の授業を四倉小学校と大浦小学校の先生方に見ていただきました。この授業研究会は、中学校区の小学校と中学校が連携して学力向上に努める取り組みの一環として毎年行われているものです。

理科は、光の反射の実験でした。鏡による光の反射の実験を行い光の道筋を記録して光の反射に法則性があることを見いだす授業でした。暗幕で太陽光を遮光した理科室で光源装置から発せられた赤い光の進む道筋を記録してその結果をもとにグループで気づいたことを付箋紙にメモをしながら考えを出し合っていました。

社会は、市場経済の仕組みを学びました。価格の変化と需要量・供給量の関係について理解する授業でした。身近なものの価格が変化する理由を班で話し合いました。課題は、平日と休日前等のホテル料金の違い。昼間と深夜・早朝のバイト代の違い。12月と他の月の卵の価格の違いの3つでした。それぞれ二つの班で分担して考えを深め合いました。

意見を述べたり、記録をしたり、生き生きと発表したりしている姿が印象的でした。授業を参観しながら思考力・判断力・表現力を高めることを意識した授業だなと感じました。さらに小学校時代にお世話になった先生方の訪問がうれしくてより一層はりきっている生徒の姿も見ることが出来ました。

## <登下校途中の交通事故防止について>

昨年の11月から12月にかけて生徒が巻き込まれる交通事故が多発しました。今年も年末となり交通量が増加し、交通事故が心配な時節になってきました。改めて交通事故の防止についてご家庭でも以下のことにご注意ください。

- 6号国道と交わる道路付近が特に危険です。車が来ないか十分な安全確認をしたり、先に車を通過させたりしてから横断すること。
- 歩道を歩くときは、できるだけ車道よりも遠いところを歩くこと。特に傘を差しているときは、トラックの風圧に傘をとられないように注意すること。
- 自転車通学の生徒はヘルメットのあごひもをしっかり締めてかぶること。周囲の車両や歩行者に注意を払いながら安全に通行すること。
- コンビニの駐車場やコンビニに面した歩道を歩行中に事故に巻き込まれるケースがあります。特に注意してください。
- 事故に遭ったら警察を呼んでもらうようにすること。「大丈夫」と自己判断しないこと。できるならば、車のナンバー、運転者氏名、車種、連絡先電話番号などを記録すること。
- 事故直後は、痛みを感じなくても後で痛くなるときがあるので、必ず病院に行くこと。